外注化阻止ニュース 第３４９号

〔発行日〕２０１７年１２月６日
〔発　行〕動労千葉を支援する会
千葉市中央区要町２－８ＤＣ会館
http://www.geocities.jp/dorosien28

ＪＲの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

地域から鉄道を奪うな！

内房線と地域を守る会 署名5467筆を提出

11月29日、地域住民を中心に内房線切り捨てに反対する「内房線と地域を守る会」（松苗禮子代表）が、ＪＲ東日本や国土交通省に対して５４６７筆の署名を提出しました。

署名で訴えられているのは、

①17年３月４日のダイ改によって廃止された館山～千葉駅間の内房線直通列車を復活させる

②15年３月のダイ改によって廃止された館山発着の特急列車を復活させる

③駅構内の利便性及び安全対策の向上

④沿線の線路や踏切等の安全対策の強化

⑤ダイ改や駅の合理化、沿線の設備増改修等の実施時には、計画段階から関係自治体や利用者等に対する丁寧な説明を行い、関係者の理解を得る

――の５点です。

生活を奪う列車削減に住民が怒り

言うまでもなく鉄道は地域での生活に必要なインフラです。直通運転や特急列車の廃止で地元の人びとが不便になっただけでなく、観光で訪れる人が減ることにもなりました。

商店街など地域の経済や文化は大打撃を受け、閉店・廃業が相継ぎました。鉄道を奪うことは地域での生活を奪うことになのです。

「公共交通である鉄道を住民の意志を無視して運行すること自体がおかしい」

「直通運転の廃止は何としても止めてほしい」

住民の生活も顧みず、まともな説明も相談もないままに列車を削減していく。ＪＲの姿勢に、地域住民が深い怒りを示しています。

動労千葉は、「自分たちの地域と内房線が切り捨てられるのを会社の言いなりで黙っていられない。館山と内房線を守るために怒りの声をあげ続ける」と考えています。

３月ダイ改合理化・地域切り捨てに動労千葉とともに反対の声をあげよう。

内房線利便性向上を

「守る会」国交相に署名5500人分

「内房線と地域を守る会」（館山市）の松苗禮子代表は29日、国交省を訪れ、ＪＲ内房線の利便性と安全性の向上を求める５４６７人分の署名簿を寺田吉道審議官に手渡した。

同会では、ＪＲ東日本が３月４日に実施した内房線ダイヤ改正で、日中の館山―千葉間の直通運転が廃止され、木更津での折り返し運転となったことなどを受け、５月から署名運動を実施。同社と国交相に対し①館山―千葉間の内房線直通列車の復活②館山発着の特急列車の復活③駅構内の利便性・安全対策の向上④沿線の線路や踏切などの安全対策の強化⑤ダイヤ改正や駅の合理化、沿線の設備増改修など実施時、計画段階での説明―の５項目を要望している。

松苗代表は「病人や子どもも、お年寄りなどの交通弱者は大変な不便を感じている。実際に地元を見て、私たちと話し合ってほしい」と要望。

寺田審議官は「人口減の中、地方の鉄道をどのような形にするのが良いのか。地域と相談するのが一番良い形だ」などと述べた。

▲JR内房線の利便性向上を求める署名簿を手渡す松苗代表（中央）＝29日午後、国交省